

令和6年度第2回広島市食品ロス削減推進部会 議事要旨

- 1 日時
令和6年11月5日（火） 午後2時～午後3時
- 2 場所
広島市役所本庁舎14階第7会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員
伊藤 圭子（部会長）、古森 公人、佐々木 緑、西村 千賀子、原田 佳子、吉川 成美
（以上6名）
 - (2) 事務局（市）
環境政策課長、市民局生涯学習課長、市民局消費生活センター消費者政策企画担当課長、健康福祉局地域共生社会推進課長、健康福祉局健康推進課参与、教育委員会健康教育課主任指導主事、教育委員会指導第一課課長補佐、教育委員会指導第二課課長補佐
- 4 次第
 - (1) 開会
 - (2) 部会長の選任
 - (3) 議事
議題 食品ロス削減推進計画の素案について
 - (4) 閉会
- 5 公開・非公開の別
公開
- 6 傍聴人の人数
0名
- 7 会議資料
 - 〈会議関係〉
 - 令和6年度第2回広島市食品ロス削減推進部会 配席表
 - 広島市食品ロス削減推進部会 委員名簿
 - 〈議事関係〉
 - 資料 食品ロス削減推進計画（素案）

8 議事要旨

発言者	発言要旨
司会	<ul style="list-style-type: none"> 本日は委員改選後の初めての開催となるため、当部会の会長の選任についてお諮りする。
	(委員の互選により、会長に伊藤委員が選任され、伊藤部会長により部会長代理として佐々木委員が指名された。)
伊藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 本日の議事は議題が1件である。事務局から説明をお願いします。
環境政策課長	【(議題) 食品ロス削減推進計画の素案について】
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> 議題の説明について、御意見、御質問等があれば承りたい。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> 10ページの国の目標の部分については、年度が西暦で記載されているが、広島市の記載は元号での記載となっており、統一されておらず分かりづらいと思う。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 読む人にとって分かりやすいように、ルールを統一したいと思う。
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> 1ページの計画策定の趣旨の5行目について、「食品ロスの削減は、食品の生産等に関わる資源等の無駄な使用の抑制」と書いてあり、まさしくその通りであるが、それに付け加えて、食品を生産する関係者の労力も全て無駄になっているため、そういった文言も入れていただく必要があるのではないかと思います。 なぜならば、新型コロナウイルス感染症の影響が色濃く出始めた2020年頃に主に食品関連事業者の非正規雇用の人などから、首を切られた、収入が減ったなどの声が出始め、フードバンクに食料の支援を求められた。多くは非正規雇用の女性であり、そういったことも加味して、食品ロスは生産、物流等に携わる汗や努力なども無駄になるという文言を入れていただきたい。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 食品の生産等に携わる方々の労力が無駄になるということについても、追加する方向で検討したいと思う。
佐々木委員	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定の趣旨や10ページのスローガンに関わることだが、食品ロスを減らすというのは道徳的な観点から行うものとなっているが、そのような形になると人それぞれの良心に頼るものだと思うので、デメリットやメリットに着目して、コストの問題、CO2の排出など、食品ロスにはこういったデメリットがあり、食品ロスを削減することでこういったメリットがあるという書き方をするという手もあるのではないかと感じた。 16ページ以降の施策展開について、これまで広島市は既に食品ロス削減の取組を多くやっていると思うが、市民からすると計画に記載している施策の全てが新規でやっていると思うってしまう可能性があるため、新しく始めた施策については「新」や黒丸をつけるなどして、今まで広島市は様々な取組をやってきたということが分かるようにすればよいのではないかと思います。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> メリット・デメリットの件は、御指摘のとおり、計画全体として意識に働きかけるような作りとなっているため、どのような形でメリット・デメリットの記載を計画に反映できるか検討したいと思う。 施策展開の部分は、新規の施策が一部あるが、ほとんど継続的にやっている施策である。御指摘の件についてはこちらでも検討した部分ではあるが、あらためて検討したいと思う。
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスというのはゼロにできるものではなく、事業者は利益を上げるために、余分に作って食品ロスになることがあるが、これについてもったいないという表現で一律にすることには疑問を感じていて、精神論に訴えると中身が見えてこない。 一生懸命食品ロスを削減するが、その上でどうしても出てきてしまう食品ロスについては、有効に活用するということがこの計画からはあまり見えてこない。

発言者	発言要旨
	<ul style="list-style-type: none"> 16 ページの「非常変災時等の学校給食における対策の実施」について、2021 年に広島県の栄養教諭 150 人程度に対して、学校が休校になった場合の食品ロスの実態をアンケート調査したことがあるが、その中で様々な問題点が見えてきた。学校給食のシステム自体を変えないと、こういった食品ロスはなくならないと感じている。この対策を具体的に実施するには、教育委員会や保護者などの関係者に対して非常に綿密に話をしなければならない。例えば食材が保護者負担であることや大量調理などがネックとなっているが、こういったことに細かく踏み込みながら施策展開する必要がある。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 事業者から発生する作りすぎ等による食品ロスの有効活用について、例えば、13 ページの表の発生段階「②製造」に記載している「製造時に生じる端材や型崩れ品等の規格外品の有効活用を推進する。」といったことを事業者に求めていきたいと考えている。 市の施策としては、17 ページの(4)の「フードシェアリングの促進」や「フードバンクの取組の支援」については、予算を確保してやっていきたいが、フードシェアリングについては、売れ残ったものが無駄にならないように、食品を必要とする団体と売れ残ったものや余ったものを有効活用したい企業等をマッチングするようなプラットフォームを作っていきたいと考えている。 「フードバンクの取組の支援について」は、食品関連事業者等の食品寄付を促進するために、寄附する際に求められる寄附食品の適切な管理等に係る情報の周知を図ることにより、寄附に取り組んでいただけるよう働きかけをしていくとともに、そういった活動をする事業者の支援を行っていきたい。
伊藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 給食に関しては大量調理をするため、休校があった場合それが無駄になってしまうということだと思うが、それは早めに発注するからそういうことが起きるのか。
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> 色々複雑で難しい話であるが、業者によっては融通をきかせて調理をとめてくれることもあるが、学校に既に納品されている食材については、学校が何とかしないといけないし、お金も払わないといけない。食材の費用については、保護者負担となっているため、例えばその食材をフードバンクに寄付しようと思っても、保護者全員の許可を得ないとできない。 休校等があり既に学校に納品された食材については、別の日に栄養教諭が頑張っただけに盛り込んだりするが、既に決まっている献立にプラスで食材を使うため、現場の職員の負担にもなり、子どもも量が多すぎるため残してしまうので、意味がない。 現場の声を聞いたことがあるが、既にきまった献立に対して、新たに食材を盛り込むのは大変な作業であるとのことであり、大規模校ほど大変だと言える。 また、広島市も給食センター方式になると思うが、その場合各学校には栄養教諭がいなくなり、給食センターに栄養教諭が在籍することになるが、そうになると一人の栄養教諭が何校もの学校を受け持って栄養指導を行うことになる。そうになると、栄養指導のみになり、とてもじゃないが食品ロスの話をするのは難しい。 ごみを減らしていくためには、子供への教育がとても必要だと思うが、そのような状況にあることなども知った上で施策を検討していかないといけないのではないかと思う。
健康教育課主任指導主事	<ul style="list-style-type: none"> 「非常変災時の学校給食における対策の実施」として、市の教育委員会が行っている取組として、変災時に給食をとめる場合、牛乳については、翌日以降の牛乳をとめて、その日の牛乳を次の日に送ることで食品ロスを減らしている。

発言者	発言要旨
	<ul style="list-style-type: none"> また、今年度から始めた取組として、臨時休業が予想される際に前の日に主食の業者に協力をしていただき、ご飯の炊飯をストップしてもらうという取組を始めた。こちらの取組は、教育委員会が判断して、全市のご飯をとめる対応ができるということになるので、前日に業者に連絡することで、米のロスが減らすことができる。 主食をとめた場合に学校があった場合は、自宅からご飯のみを持参していただくようお願いするという対応になる。 おっしゃるとおり食材については、これから検討する余地があると考えている。
伊藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> まさにこの部会は環境局だけでなく、他の部局と連携して進めていくことができるのが特徴である。今後も連携してやっていただければと思う。
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定の趣旨の食品ロスの定義について、農林水産省の表記は「まだ」ではなく「本来」と使用しているが、「まだ」としている理由はあるのか。「まだ」というのが方言でもっとという意味のところもあるようであり、「本来」の方が一般的かと思うがどうか。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 法律や本市の条例で「まだ」という言葉が使われているためそれに合わせている。
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> 11 ページに家庭系・事業系の食品ロス量をそれぞれ 20%減の目標を掲げ、PDCA サイクルで 5 年ごとに計画の見直しとなっているが、中期的な目標の掲げ方はどのように考えているのか。5 年ごとの目標の中でどのようなベンチマークを設けるのか、今回掲げないということなのか。 また、国の目標を上回る 2%の削減を目指すとのことだが、その根拠は何か。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 2%というのは、国の目標を単年度にすると 1.67%となるため、それを上回る目標であり、これまでの本市の食品ロス量の推移をみると、ばらつきがあるが、近年の食品ロス量はこれまでの平均を下回っていることもあり、食品ロス削減の取組が進んでいると考えている。 食品ロス量が今後どのように推移するのか不明ではあるが、食品ロス削減にはしっかりと取り組んでいかなければならないため、目標を 2%削減で設定し、広島市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画全体の考え方、5 年を中間目標年度に目標を立てて、そこに向かって効果が出ているのかなどを見ていきたいと思う。 国も事業系の食品ロス量の目標値を早期に達成したこともあり、市としても目標に対して、それを下回る状況が続けば、目標の見直しを考えたいと思う。
吉川委員	<ul style="list-style-type: none"> 食農推進事業の推進について、食品ロスに関する内容が記載されていないため、食品ロスとの関係が分かるような記載になるとよいと思う。
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 関係課と協議して、御指摘を踏まえて文言の修正を行いたいと思う。
原田委員	<ul style="list-style-type: none"> 推進体制の整備についてだが、認知症カフェというのが全国的にも広島市にも増えており、いわゆるお年寄りの孤独死や引きこもりを失くすことや、要介護予防のため、認知症カフェを国としても市としても進められていると思うが、私はそういう場所を利用して、食品ロスをどうしたら減らせるのか、食品ロスの実態などの話をしている。 もちろん子供に対する教育も重要だが、高齢者の方はまさしくもったいない世代であり、改めてその世代に対してもったいないということについて認識してもらったために認知症カフェを利用するのは有効ではないかと思う。 部局相互の連携の中にそのような観点も踏まえて、地域包括とか社協などとの連携も図っていただけたら良いと思う。

発言者	発言要旨
環境政策課長	<ul style="list-style-type: none"> 現在は今の部会のメンバーが推進体制となるが、先ほどお話のあった認知症カフェ等であれば地域包括ケア推進課や高齢福祉課などが所管になるが、推進体制をどう広げていくかは内部で検討したいと思う。
伊藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 他に質問はないか。ないようであれば、「食品ロス削減推進計画の素案について」皆様にお諮りする。食品ロス削減推進計画の素案について、委員の皆様からの意見等を参考にしながら、広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会に諮ることに異議はないか。
各委員	(異議なし)
伊藤部会長	<ul style="list-style-type: none"> 異議なしということなので、食品ロス削減推進計画の骨子案を、本日協議した事項も含め、広島市廃棄物減量化・資源化等推進審議会に諮ることとする。 この他、御意見・御質問等ないようなので、本日予定していた議事についてはこれで終了する。